

好評連載中 ……検査のはなし…

&lt;中日新聞・東京新聞 毎週金曜日朝刊&gt;

## ◇ 第 51 回 10 月 30 日

## &lt; 寄生虫 - 上 &gt;

## 痛いアニサキス、内視鏡で摘出

寄生虫は私たちの身近に、たくさん存在しています。まずは、海産魚にひそむ寄生虫について紹介します。

サバ、スルメイカなど 200 種以上の魚には「アニサキス」の幼虫（体長 2~3cm）が寄生していることがあります。刺し身と共にこの幼虫を摂取すると感染します。胃アニサキス症は、食後 2~8 時間程度で強い痛みを訴え、悪心、嘔吐を伴うことがあります。治療薬はないため、内視鏡で摘出します。また、腸アニサキス症では腸閉塞、腸穿孔などと診断され、開腹手術を受けることがあります。感染を予防するには、氷点下 20 度以下で 1 日以上、冷凍します。ホタルイカ、ハタハタ、タラなどの内臓には「旋尾線虫」の幼虫（体長 4~8mm）が寄生していることがあります。とても細く肉眼で見つけることは困難です。幼虫が寄生したホタルイカなどを食べると、数時間から 2 日程度で激しい腹痛、嘔吐などを起こすことがあります。1、2 週間後に腹部の皮膚内に幼虫が現れると、強いかゆみを伴うミミズぶれが起こります。それが不規則に移動することがあります。ホタルイカの内臓を生で食べる場合は、氷点下 30 度で 4 日間以上、冷凍することが大切です。

## ◇ 第 52 回 11 月 6 日

## &lt; 寄生虫 - 中 &gt;

## 予防には淡水魚の加熱を

今回は、淡水魚を生で食べることによって感染する寄生虫について紹介します。まず、サクラマス、カラフトマスなどサケ属の魚の筋肉には「日本海裂頭条虫」の幼虫（体長 1、2cm）が寄生していることがあります。これを生で食べると、小腸内で成虫になり、全長が 5~10m にも達します。症状は、下痢、腹痛、腹部膨満感などで、個人差があります。

アユ、ウグイ、シラウオなどの魚には、体長 0.15mm ほどの「横川吸虫」の幼虫が寄生していることがあります。成虫でも 1.5mm と小型で、少数の寄生なら症状はありませんが、多数寄生すると腹痛、下痢などを起こします。

コイやフナなど寄生する「肝吸虫」の幼虫は、成虫の体長が 1、2cm 程度。肝臓内の胆管に寄生するために、肝障害などを起こします。これらは検便で診断します。

ドジョウ、ライギョ、ヤマメ、アマゴなどに寄生するのは「顎口虫」の幼虫（約 3mm）。人間の体内では、幼虫のままで皮膚や皮下組織を移動し、炎症を起こします。これらの感染を予防するには、生や不完全な加熱で魚を食べないことが大切です。

## ◇ 第 53 回 11 月 13 日

## &lt; 寄生虫 - 下 &gt;

## 小腸内で数メートルにも成長

獣肉を生で食べるのも、寄生虫に感染する恐れがあります。

牛の肉、横隔膜などに寄生する「無鉤条虫」の幼虫は、大豆ほどの大きさですが、人の体内に入ると、小腸内で全長 3~7m の成虫になります。腹部不快感、腹痛、下痢などの症状が出ることもあります。

豚の肉、横隔膜、肝臓などに寄生する「有鉤条虫」の幼虫も大豆大で、人の小腸内で 2~5m にも成長します。この虫は、卵を通じて寄生することもあり、腸内でふ化した幼虫が全身に運ばれ、皮下、筋肉、脳、脊髄などに袋を作ると重篤な症状を起こします。豚や羊の肉には「トキソプラズマ」という原虫の塊ができてることがあり、生肉や生ハムなどを通して体内に入ります。猫の便も感染原因となります。無症状のことが多いですが、妊婦の胎盤から胎児に移行すると、水頭症などを引き起こす先天性トキソプラズマ症を発症することが、まれにあります。

寄生虫検査には、便を調べるもの、肛門に特殊なテープを張って調べるもの、血液の免疫反応を調べるものなどがありますが、食生活の中で感染予防を心掛けるのが何より大切です。

次号に続く…

前ページより続く…

## ◆ 花田(相談・試食担当) :

チームで取り組む特徴を活かし、多職種による専門相談コーナーを併設しました。臨床検査相談 14 名、栄養相談 16 名、運動相談 20 名、未病相談 19 名、CDEJ 相談 10 名の相談を受け、相談に来られた方のなかには、『主治医には聞けないこともわかりやすく教えて頂けた』と仰って頂きました。

## ◆ 山下、横山(臨床検査相談担当) :

糖尿病の予防や進展阻止の啓発を念頭におき相談を担当しました。当日、SMBG コーナーで血糖値が高かった方やご自身の検査報告書を持参された方などに、検査値の示す意味や解釈などをご説明しました。

相談に来られた方は私たちの説明やアドバイスをとても真剣に受け止めて頂いたように伺えました。今回の事業を通して技師が医療の現場でも職種を活かした検査相談などの役割の必要性を考えさせられる一日でした。

## ◆ 西垣(受付担当) :

受付ボランティアとして参加させていただき、市民の多くの方々が、糖尿病の検査について関心を持たれている事を実感しました。お爺さんがアンケートを記載される際、字が読みにくいので傍にいた時に、『臨床検査技師の仕事について、良く理解できた』と、言ってもらい嬉しかったです。



【東京会場：五内川里子】

【大阪会場：森嶋祥之】

## 研修会のお知らせ…



## 平成 21 年度 臨床検査安全管理者研修会

日 時：平成 22 年 1 月 22 日(金) 9:30~17:00

会 場：大森東急イン

前号<11 月号>にて、研修会プログラムをお知らせしましたが、今回の研修会では初の試みとして、医療事故被害者家族の方から『家族が事故にあった病院で働く決心』と題してお話いただきます。

また、看護師を中心して取り組みが始められた危険予知トレーニング(KYT)について、インシデントレポートから得られるいろいろな情報の活用、採血業務に伴う安全管理と臨床検査技師による針刺し事故解析、薬剤耐性菌による院内感染予防対策を予定しています。平日の開催となりますが、医療安全管理には欠かせない内容のものばかりです。

定員は 130 名を予定しており、定員になり次第締め切りますので、申し込みはお早めに…

詳細は医学検査 11 月号をご覧ください。

## 医学検査目次訂正のお知らせ

医学検査 11 月号の目次および表紙に欠落がありました。医学検査 12 月号のお知らせページに正誤表を入れましたのでご確認ください。